

巻頭インタビュー

「技能実習生と地域をつなぐ
プログラム」に参加して
～インドネシア人技能実習生が語る
宮城・塩竈の魅力～



ユリア ワティさん(上段左)
シファ ナルリタさん(上段右)
フィカ スリスティヤニさん(下段左)
フィットリア サンティさん(下段右)
いずれもインドネシア共和国出身

私達MIAは本年度、(一財)自治体国際化協会の「多文化共生のまちづくり促進事業」の助成金を受け、「技能実習生と地域をつなぐプログラム」を実施しました。このプログラムは、宮城県の地域産業の貴重な担い手である技能実習生に、地域住民との交流の機会を提供することで、技能実習生と地域住民が互いに認め合い、尊重し合って共に暮らす社会を目指すものです。塩竈市内の水産加工会社2社のインドネシア人技能実習生21人が参加し、日本人の「地域交流サポーター」の協力を得ながら市民向けのイベントで母国の踊りや料理を紹介したり、地元NPOのガイドで街歩きをしたり、様々な交流活動を楽しみ、宮城の文化や暮らしへの理解も深めました。今回の倶楽部MIAでは、参加した技能実習生4人に話を聞きました。

—自己紹介をお願いします。

ユリア ジャワ島のスラバヤ市出身です。スラバヤ市は人が多くて、にぎやかな街です。来日3年目で、趣味は踊りです。実習先では、鮭などの魚を三枚におろしています。

シファ 私もスラバヤ市出身です。来日2年目で、バレーボールが得意です。私も実習先では、魚をさばく作業をしています。

フィカ ジャワ島のジョグジャカルタ市出身です。ジョグジャカルタ市は今でも王宮があり、伝統的な生活が残る特別な地域です。昨年、日本に来たばかりで、趣味はギターを弾くことです。私の実習先では、来日1年目の実習生は包丁を使えないので、先輩達がさばいた魚を並べるのが主な役割です。

サンティ スラバヤ市出身です。趣味は、ランニングです。昨年日本に来たばかりですが、フィカさんの実習先とは違い、私は魚を包丁でさばく作業をしています。

—プログラムの中で、特に印象に残っていることを教えてください。

ユリア インドネシアの踊りを披露する時にリーダーを務めたことです。上手にできるか不安でしたが、本番では皆、うまく踊ることができ、見ていた塩竈の人達にも喜んでもらえて嬉しかったです。

シファ 街歩きです。初めて玉こんにゃくを食べましたが、海苔のような海の香りがして、「おいしい」と思いました。

フィカ 塩竈市民の方々と交流するイベントで、私達が実習先でどんなことをしているか日本語で説明したことです。上手にできるか心配で、



塩竈市民向けのイベントで、踊りを披露するインドネシア人技能実習生

ものすごく練習しました。本番でうまく説明できて良かったです。

サンティ 宮城の風土や環境保護活動について学ぶ伊豆沼へのスタディーツアーに参加した時に、芋煮を食べたことです。おいしくて、たくさん食べました。

—プログラムを通じて新たに見つけた宮城・塩竈の魅力はありましたか？

ユリア 街歩きの時に御釜神社の存在を知るなど、住んでいる地域に関して発見がありました。塩竈神社は何度も行ったことがありましたが、御釜神社は知りませんでした。御釜神社では、普通は見られないご神体を見せていただくという貴重な経験をしました。

シファ 同じく御釜神社に魅力を感じました。御釜神社に行った時に、ガイドさんから海水を煮る伝統的な塩の作り方を教えてもらいましたが、塩田を利用して海水から塩を取り出すインドネシアの方法と全く違うので、面白いと思いました。

フィカ 街歩きで、改めて宮城の食文化に興味を持ちました。おだんごにはいろいろな味、種類があることを知りました。

サンティ 私も街歩きで、食文化に魅力を感じました。玉こんにゃくを食べ、「おいしい」と思い、作り方にも興味を持ちました。

—これから、宮城・塩竈でどんな交流をしていきたいか教えてください。

ユリア 今回のプログラムは主に塩竈市内で行われましたが、県全体を対象にもっと大きなことができればと思います。例えば、県内のインドネシア人が集まって「仙台・青葉まつり」に参加して踊るなど、インドネシアをよりアピールできればと思います。

シファ プログラムの中で地域の日本人と日本語で話す機会があって楽しかったので、今後はもっと多くの日本人といっぱい日本語で話したいです。日本の歴史や文化に興味があるので、教えてください。

フィカ 日本人に教えてもらう形で漢字の勉強を続けていければと思っています。漢字は難しいし、独学も大変です。交流活動の一環で、漢字の意味などを教えてもらいながら勉強したのがすごく楽しかったので、「こんな勉強が続けたい」と思いました。

サンティ このようなプログラムが続いて、インドネシア人と日本人の絆が強くなることを願っています。文化の紹介や交流を通じて、お互いの理解が深まったらいいなと思います。

このコーナーでは、県内の国際活動団体の2017年2月～3月の活動予定をご紹介します。

MIAイベントカレンダー

2017	2	S	M	T	W	T	F	S	3	S	M	T	W	T	F	S
	2				1	2	3	4	3				1	2	3	4
	5	6	7	8	9	10	11		5	6	7	8	9	10	11	
	12	13	14	15	16	17	18		12	13	14	15	16	17	18	
	19	20	21	22	23	24	25		19	20	21	22	23	24	25	
	26	27	28						26	27	28	29	30	31		

※●はイベント開催予定日です。詳しい内容については以下でご確認ください。

アイコンの見方

👤: 主催

📍: 会場

🕒: 時間

📝: 申し込み

💰: 参加費

☎: 電話

FAX: FAX

✉: Eメール

🌐: ホームページ

2月 FEBRUARY

2～3月 第1・第3土曜

エブル(エブルアート)教室

👤 仙台日本トルコ協会
📍 仙台日本トルコ協会
(仙台市青葉区一番町2-5-22-2F
アブロードランゲージセンター内)
🕒 14:30～16:30
📞 要(電話、メール)
💰 8,000円/月
☎ 022-213-7767
✉ turkeycenter@gmail.com

2～3月 第2・第4土曜

トゥーオヤ(トルコの伝統的な手芸)教室

👤 仙台日本トルコ協会
📍 仙台日本トルコ協会
(仙台市青葉区一番町2-5-22-2F
アブロードランゲージセンター内)
🕒 13:00～15:00
📞 要(電話、メール)
💰 5,000円/月
☎ 022-213-7767
✉ turkeycenter@gmail.com

2～3月 第2・第4土曜

イーネオヤ(トルコの伝統的な手芸)教室

👤 仙台日本トルコ協会
📍 仙台日本トルコ協会
(仙台市青葉区一番町2-5-22-2F
アブロードランゲージセンター内)
🕒 15:30～17:30
📞 要(電話、メール)
💰 6,000円/月
☎ 022-213-7767
✉ turkeycenter@gmail.com

2～3月 第3水曜日

申請取次行政書士による外国人のための
入管手続無料相談会

👤 宮城県行政書士会
📍 仙台市青葉区役所 4階 市民相談会会場
🕒 13:00～16:00
☎ 電話受付または予約なしでもOK
💰 無料
☎ 022-261-6768
FAX 022-261-0610

2～3月 第3土曜日

外国籍の市民とその家族及び関係者のための
VISA・生活無料相談会

👤 NPO法人ビザ&ライフサポートインみやぎ
📍 大崎タイムス社
🕒 11:00～14:00
📞 要予約(電話)
💰 無料
☎ 090-7937-6716(白石)、または
090-6565-9519(関本)

FAX 022-358-1250

🌐 http://www.visa-life-support.jp/

5日

早春パーティー(日本舞踊、琴演奏など)

👤 レディバード
📍 北山市民センター
🕒 11:00～14:30
📞 要(FAX・メール、1月26日締切)
💰 留学生500円、会費1,000円、
一般1,200円(昼の弁当代)
☎ FAX 022-295-0285
✉ yyytake@nexyzbb.ne.jp

11日

春の訪れを祝う「クレープ・パーティー」

👤 仙台日仏協会・アリアンス・フランセーズ
📍 仙台市青葉区本町2-8-10-4F/5F(予定)
🕒 13:00～15:00
📞 要(電話・FAX・メール)
💰 会員2,000円、非会員2,500円、
非飲酒の方・未成年1,500円、
当日参加者500円プラス
☎ 022-225-1475
FAX 022-225-1407
✉ contact@alliancefrancaise-sendai.org
🌐 http://alliancefrancaise-sendai.org

23日

キプシギス人(ケニア)の加入儀礼の論理と
握手の政治学

👤 アフリカ・セミナーの会
📍 仙台国際センター 研修室
🕒 10:00～12:00
📞 不要
💰 1,000円
☎ FAX 022-362-7907

26日

MIA日本語ボランティアセミナー

👤 宮城県国際化協会(MIA)
📍 仙台市市民活動サポートセンター
セミナーホール
🕒 13:00～16:00
📞 要(電話・FAX・メール、定員60名)
💰 無料
☎ 022-275-3796
FAX 022-272-5063
✉ mail@mia-miyagi.jp
🌐 http://mia-miyagi.jp/

26日

仙台四方山話(せんだいよもやまばなし)

👤 講師:仙台市日中友好協会会長 佐々木 謙氏
👤 宮城華僑華人女性聯誼會
📍 仙台国際センター 交流コーナー 研修室AB
🕒 13:00～15:00
📞 要(電話・FAX・メール、2月20日締切)
💰 会員無料、一般200円
☎ 090-6528-7728

FAX 022-277-4582

✉ qinmei9@hotmail.com

3月 MARCH

11日

外国人の子ども・サポートの会 2016年度
春季公開研修会
MIA外国籍の子どもサポーター
スキルアップ研修会
「非漢字圏から来日した生徒のための教材と
使い方」(仮称)

👤 外国人の子ども・サポートの会
宮城県国際化協会(MIA)
📍 仙台国際センター
会議棟1階 交流コーナー 研修室
🕒 10:00～17:00(受付9:30～)
📞 要(電話・FAX・メール、3月3日締切)
💰 500円
☎ 022-275-3796
FAX 022-272-5063
✉ mail@mia-miyagi.jp

18日

外国人の医療・福祉・社会保障
(講師:福島移住女性支援ネットワーク代表
佐藤 信行氏)

👤 宮城華僑華人女性聯誼會
📍 仙台国際センター 交流コーナー 研修室AB
🕒 14:00～16:00
📞 要(電話・FAX・メール、3月10日締切)
💰 会員無料、一般200円
☎ 090-6528-7728
FAX 022-277-4582
✉ qinmei9@hotmail.com





MIA日本語ボランティアセミナー

このセミナーは、地域の日本語教室等での支援のあり方について考えること、また、参加者同士の意見交換・情報交換を通して相互の連携を図ることにより、それぞれの活動をより良いものとしていただくことを目的として開催するものです。ご関心のある方、是非ご参加ください。

- 日時：2017年2月26日(日) 13:00～16:00
- 場所：仙台市市民活動サポートセンター セミナーホール
- 主催：宮城県国際化協会(MIA)
- プログラム
 - ・講義とワークショップ
 - 「地域日本語教室でのより良い支援のためのヒント
～心理学からのアプローチ～」

講師 一條玲香さん(東北大学大学院文学研究科・臨床心理士)
異文化適応の基礎知識、モチベーションアップにつながる学習者への関わり方など、心理学の視点から見た、日本語学習支援に役立つアレコレを、定住外国人のメンタルヘルスに詳しい臨床心理士といっしょに学びます。

- 懇談会
お茶とお菓子を囲んで、他の支援者の方々との情報交換、ネットワークづくりをしませんか。
- 参加費：無料
- 定員：定員60名(要申込み)

ライブラリー

ライブラリーのコーナーで紹介されている図書は全て貸し出しまたは当協会図書資料室で閲覧可能です。

「日本語を教えよう!2017」

発行:イカロス出版

「外国人に日本語を教えるってどんなこと?」という疑問を持った人に最適のガイドブックで、プロの教師となるための道筋や実際の仕事の内容、海外で教える方法、ボランティアで教えたい人向けの情報などが掲載されています。

プロであれ、ボランティアであれ、多様な文化背景の人たちと交流ができる「日本語を教える」活動は、とても魅力のあるものです。本県内の在留外国人数も過去最高を記録しており、日本語学習に対するニーズも高まることが予想されます。この本を読んで、みなさんご自身も「日本語を教える」ことに積極的に関わること考えてみてはいかがでしょうか。



JICA東北からのお知らせ

所在地 〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命タワービル20階
TEL 022-223-4772 FAX 022-227-3090 E-mail thictpp@jica.go.jp
JICA東北ホームページ <http://www.jica.go.jp/tohoku/>

※JICA=独立行政法人国際協力機構(開発途上国に対する総合的な二国間援助機関で、技術協力・有償資金協力・無償資金協力を行っています)

ODAを活用した民間企業海外展開支援事業 -JICA支援事業のご案内-

JICAでは、長年の政府開発援助(ODA)の実施で得た強みを最大限に生かし、日本の企業の海外展開を支援しています。

2012年から始まった中小企業海外展開支援事業では、中小企業の優れた製品や技術を途上国の開発に活用することで、途上国の開発課題の解決と、日本の国内経済の活性化を目指しています。これまでに全国の中小企業により、400件を超える事業が行なわれており、宮城県では8企業9件が、7か国(インドネシア、ミクロネシア、ベトナム、インド、モンゴル、キリバス共和国、タイ)において実施されてきました。

途上国には、資源・エネルギー、都市環境問題、農業、防災・災害対策、福祉等、さまざまな分野に関する課題があります。例えば、インドネシアでは、温室効果ガス排出量が世界でも上位に位置しており、排出量の削減が課題です。その大きな発生源の一つとなっている火力発電の活用方法を検討する必要がある一方、電力需要も引き続き高く、ジャワ島では電力不足が深刻化しています。

宮城県の空調企業株式会社では、この課題に対し、多くの電力が消費されている空調機の空調効率性を改善するために、電力消費

エネルギーを約30%削減することを可能にした同社の空気攪拌装置「ウィンドウィル」の導入を提案、インドネシア政府の抱える課題解決への本製品の活用可能性についてJICAの委託事業として調査(基礎調査)を行いました。本調査を通じ、同製品は現地の環境配慮製品審査機関で「グリーンリスティング」の認証・登録を受け、新施設への導入・設置の推奨製品となり、併せて現地政府系試験評価機関PT.SUCOFINDOにて同製品の性能評価試験を実施し、市場開拓の可能性が膨らみました。今後、同社は、現地に合弁会社を設立し、インドネシアへの生産移管を実施、生産移管時には、現地の委託先樹脂成型会社へ技術員を派遣し、生産技術確立、品質安定化の人材育成等を実施する計画です。

JICAでは、中小企業等が海外展開を検討する各段階に応じ、多数の支援メニューを取り揃えています。また、新輸出大国コンソーシアムにも参加しており、国内の支援機関と連携し、企業の海外展開を支援しております。将来海外へのビジネス展開を検討されている企業の皆様は、ぜひお気軽にご相談ください。

■JICAによる支援メニュー

現地で調査したい	基礎調査	案件化調査	BOPビジネス連携促進
現地で実証、販路開拓、事業実施をしたい	普及・実証事業	民間技術普及促進事業	海外投融資
自社の将来を担う人材育成をしたい	民間連携ボランティア	「修士課程およびインターンシップ」プログラム	日本センター
途上国の情報収集や相談をしたい	PARTNER	貿易・投資促進政策アドバイザー	PPPインフラ事業

MIA情報便



このコーナーでは、MIA宮城県国際化協会の最近の動きをお知らせいたします。いずれの件も、お問い合わせは ☎022-275-3796 ✉mail@mia-miyagi.jp まで。お気軽にどうぞ。



あなたの町の国際化情報を3D化します! 宮城県とMIAによる市町村訪問プログラム

「現場主義」を掲げて地域の多文化共生推進にまい進しているMIAですが、平成26年度から宮城県国際経済・交流課と共に市町村を訪問させていただいています。初年度は、仙台市を除く34市町村すべてを訪問、次年度からは、定住外国人の状況変化の著しい市町村にターゲットを絞り込み毎年訪問させていただいています。

訪問先では、国際業務担当課だけではなく「教育」、「保健」、「福祉」、「住民登録」、「観光」といった様々な部局からも参集いただき、情報交換を行うこととしています。こうすることで、その町の国際化の現状が立体的に見えてくるからです。特に、その町の国際化の現状を肌で感じているのが「住民登録」の担当課。平成24年7月の「住民基本台帳法の一部改正」により外国人も日本人同様に住民登録をすることになったため、役所の中で一番外国人と触れ合う窓口となっているのです。「この横断的な情報交換のおかげで、住民登録に来た外国人の家族の状況に合わせて、教育委員会に繋いだり、保健師に繋いだりと、一歩先んじたご案内ができるようになりました」

こうおっしゃってくださったのは石巻市市民課の担当者Uさん。この事業を重ねてきた甲斐がありました。

さて、宮城県では全国に先駆け、平成19年7月に「多文化共生社会の形成の推進に関する条例」を策定しました。しかしながら、県庁内でもこの条例を理解し、施策に反映させている部局は多いとは言えないのが現状です。そこで、12月22日、県内市町村で試みてきた「横断的な情報共有の場」を県庁内でも再現してみました。参加されたのは「共同参画社会推進課」、「保健福祉総務課」、「義務教育課」、「長寿社会政策課」など8課の担当者の方々です。このような顔ぶれで集まることは実に画期的なことで、職員の間も多岐にわたる職種でもあることから、今後ぜひ定例化してほしいものです。



みやぎのふるさとふれあい事業 ～石巻市編～

宮城県国際化協会(MIA)では、県内の自治体と協力し、毎年秋に「みやぎのふるさとふれあい事業」を実施しています。この事業は、地域の観光名所の見学やホームステイを通じて、県内在住の外国出身者が宮城への理解を深め、県民と交流する場を提供するもので、毎年、参加者から高い評価を受けています。

昨年は、利府町(9/24～25)、石巻市(10/1～2)、村田町(10/9)の計3市町で開催されました。

このうち、石巻市は震災後初めて、7年ぶりの実施となりました。復興まちづくり情報交流館、石・森萬画館、日本庭園「森芳春荘」見学、ホームステイというプログラムで参加者を募ったところ、申し込みが殺到する人気ぶりでしたが、市民の皆様からご協力をいただき、参加者

の枠を当初の10人から21人に拡大したことで、大勢の外国出身者が参加することができました。プログラム終了後、参加者からは、「仙台以外の地域を詳しく知ることができた」、「ホストファミリーが親切にしてくれて、母国の両親を思い出した」、「また石巻市に行きたい」、「友達に参加を勧めたい」といった声が届きました。

今後もこのような交流を通じて、県内在住の外国出身者と県民との相互理解が深まることを願っています。



「森芳春荘」で、ホストファミリーと一緒に茶室体験を楽しむ参加者

MIA法人賛助会員ご紹介コーナー

株式会社仙台放送(本社・仙台市)



当社は、昭和36年に設立された、フジテレビ系列の民間テレビ放送会社です。

今年度は新しい試みとして、復興庁の「平成28年度『新しい東北』交流拡大モデル事業官民共同プロジェクト」の1つに選ばれた「Go!Go!Tohoku!!!」事業を展開しています。これは、本県在住の留学生(27ヶ国・地域の約160名)がメンバーの団体「東北アンバサダークラブ」の協力を得ながら、東北への外国人観光客の誘致拡大に取り組むものです。

具体的には、東北各地を訪れた留学生に観光資源の評価や外国人を受け入れる際の課題の抽出などをしてもらい、実際の旅行商品の造成、販売に役立てていただくというものです。留学生が旅行する様子を撮影して専用ウェブサイトや動画共有サイト「YouTube」で公開したり、FacebookなどのSNSを活用し、留学生に様々な言語で東北の見どころや魅力を発信してもらったりもしています。中には、ドローンを使って、見事な動画を自分で制作する留学生もいます。

同事業の事務局スタッフには、プロデューサーとして、オーストラリア出身のジェシカ・アン・ハラムズさんを迎えました。福島県でのALT(外国語指導助手)の経験もあるジェシカさんは、「見どころの多い東北の本当の姿を広く知ってほしいですね。今後は、留学生による生活者目線での東北の魅力発信に期待したいです」と意欲にあふれています。



賛助会員募集

MIA(公財)宮城県国際化協会は、県民参加の幅広い国際交流を進め、人と人との輪を広げていくために、皆様の御理解と御協力を求めています。



- 賛助会員の資格
本協会の趣旨に賛同し、運営活動に協力していただく個人や団体(国際活動団体、企業、機関)など
- 賛助会員の区分と年会費
個人会員 / 1口 3,000円
団体会員 / 1口 10,000円
- 賛助会員の特典
◎ 協会機関紙「みやぎの国際情報誌 倶楽部MIA」の定期送付(年6回)

- ◎ 当協会主催のイベントや各種講座の案内及び参加費の減免
- ◎ 個人会員については協会と提携する旅行会社が指定する国内外の旅行代金の一部割引(株)JTB東北仙台支店 宮交観光サービス(株)
- ◎ 企業会員については世界各国国旗の無償貸し出し、及び外国人スタッフ等による国際理解出前講座の無償提供
- 入会方法
◎ 本協会まで御連絡ください。
所定の申し込み用紙と振り込み用紙を送付いたします。



倶楽部 MIA vol.89
編集・発行 公益財団法人 宮城県国際化協会
〒981-0914
仙台市青葉区堤通兩宮町4番17号
宮城県仙台合同庁舎7階
TEL 022(275)3796
FAX 022(272)5063

E-mail mail@mia-miyagi.jp URL http://mia-miyagi.jp/

